



北川温泉旅館組合

満月の夜は

ねごさいの日

12ページにて紹介



循環社会の推進と町民生活の応援 2~3

一般質問 6~9

河津町・東伊豆町議会議員研修会 11

かがやくまちのひと 12

議会HP



第1回
定例会

令和6年度一般会計予算を可決

循環社会の推進

と町民生活の応援

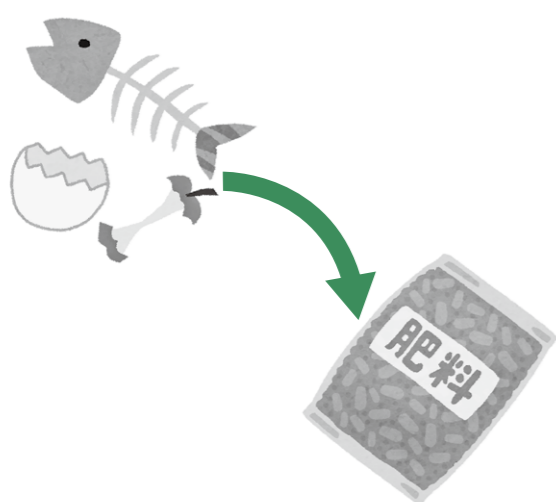
定例会の
あらまし

令和6年第1回定例会を3月6日から21日までの7件、各会計の補正予算7件、新年度予算8件、人事

16日間の日程で開催し、補正予算・条例改正の専決承認2件、条例改正案件2件、議員発議1件を可決しました。

Pickup ① ごみ堆肥化事業

4,270万円



旅館から出た生ごみを堆肥化

旅館などから出る生ごみを堆肥化する事業を旧アスト会館体育館で行います。事業は民間会社に委託し、当面は稲取地区の宿泊施設を対象として、ごみの減量化と循環社会に向けた取り組みを行います。

Pickup ③ 带状疱疹予防接種費用助成

234万円



带状疱疹ワクチン接種に補助します

50歳以上の方を対象に、带状疱疹ワクチンの接種費用を1回につき4,000円助成します。

Pickup ② 高齢者補聴器購入費助成

150万円



補聴器購入の補助をします

65歳以上の方の補聴器購入費用の2分の1（上限3万円）を補助します。
※医師の診断書が必要

Pickup ④ 子育て世代応援充実

677万円



物価高騰も見据えた見直し

小・中学生の給食費補助を月500円から1,000円に拡大し、チャイルドシート・ベビーカー購入費補助金を増額します。また、妊娠時に5万円、出産時に5万円を支給します。（子宝祝金と合わせて受給できます。）

令和6年度予算は広報ひがしいず4月号で見ることができます。



議員からの質疑（抜粋）

ユニバーサルデザイン

- Q 庁舎内ユニバーサルデザイン化対策工事の内容は。
- A 補助を受け、庁舎及び立体駐車場のトイレを洋式化する内容となる。

出産子育て

- Q 出産・子育て応援交付金内容及び子宝祝金との違いは。
- A 出産・子育て応援交付金は国・県の補助事業で妊娠時5万円及び出産時5万円を支給する内容であり、子宝祝金は町の単独事業で対象者は両事業の給付を受けることができる。

健康づくり

- Q 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業の内容は。
- A 高齢者が集まる場所に歯科衛生士や保健師が出向き、オーラルフレイル予防を実施する。口の筋肉を鍛える吹き戻しを使って、口の体操やフッ素洗口を行う内容となる。

観光対策

- Q 観光対策事業補助金の増額内容は。
- A 熱川温泉の九份化計画事業、どんつく祭り、夏季の熱川海岸ごみ処分等によるものが主な内容。

国民健康保険

- Q 標準保険料率統一化についての考え方は。
- A 国民健康保険の加入者は、今後も減少していく。保険料率が統一された場合、当町の保険税は増額となる見通しであり、被保険者の負担軽減に鑑み、基金を繰り入れて段階的に引き上げたいと考える。

水道事業

- Q 新白田浄水場建設予定地既存構造物撤去工事等、約1億5千万円の工事内容は。
- A 白田地区に町が所有する旧百山荘の家屋、立木、転石等のすべてを撤去する5件の工事の合計。

令和6年度東伊豆町一般会計予算に対する附帯決議

1. 域内交通実証事業について

同事業については、委託料として1千500万円が計上されているが、令和5年度の下半期に行われた実証実験の結果を踏まえ、令和6年度に予定する実証実験の見直しに触れる答弁があった。令和6年度予算可決後にはなるが、早急の実証事業の内容を見直し、議会との協議による合意形成を図った後に、事業を実施するよう求める。

2. 町民が主体となるまちづくりへ

町は、外部からのアドバイスや提言を受けて事業実施を図る手法並びに大学、民間等と連携しつつ事業を進める手法を取り入れており、町の発展に寄与している。一方で、事業に至るまでのプロセスが町民に分かりづらいため、今後はイベント等を含め、事業の分かりやすい周知に努めるとともに、各分野における町民参画の機運を高めて、町民が主体となるまちづくりに取り組むことを求める。

附帯決議についてはホームページで確認できます。
町政・議会>議会>陳情・要望>意見書・決議書



予算審査
特別委員会



意見を付して予算を可決
さらなる実績検証を

第1回定例会で提出された令和6年度一般会計・特別会計の当初予算を予算審査特別委員会に付託し、3月8日、11日、12日、18日の4日間にわたり審議しました。審議の結果、以下の意見を付して可決しました。

提言1 CATV広報委託料について

町公式 You Tube チャンネルへの本格的な動画投稿の機会が増えているが、今後、動画の撮影及び編集本数が増えるようであれば、内容に見合う委託料への見直しを検討されたい。

提言2 無人航空機操縦士等受講負担金について

町が所有するドローンの活用は、イベント等での撮影に加え、災害時にも被災状況を迅速に確認できるなど、状況把握において大きな意義を持つ。令和6年度は、県補助金の終了に伴い、予算計上はされていないが、災害発生を考慮し、継続的な人材育成に努められたい。

提言3 災害時避難行動要支援者支援事業について

災害時における高齢者の避難においては、津波、家屋倒壊等、被災状況に応じた支援が求められることから、個別計画だけでなく、避難後のフォロー及びサポートについての具体的な計画も検討されたい。

提言4 保健事業と介護予防等の一体的実施事業について

本事業は健康寿命の延伸や将来的な医療費・介護費の抑制のため、非常に重要な事業である。一方、これまで町独自に確立してきた健康増進事業やフレイル対策等の既存事業も現状において同様に重要な役割を果たしているため、両事業の両立並びに更なる充実に向けて、マンパワーの確保も含めしっかりと取り組まされたい。

提言5 東伊豆幼稚園における園庭の芝生化について

園庭の芝生化は、裸足での運動、ほこりの飛散防止などの有効かつ有益な面もあるが、動物の糞尿、雑草等に悩まされるという問題もある。芝生化を進めるにあたっては、適正な管理計画及び維持管理に対する支援体制を確立して事業を実施されたい。

提言6 老朽管路の更新及び基幹管路の耐震化について

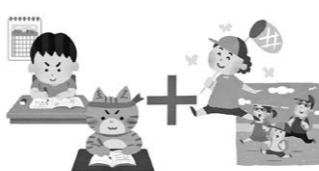
本予算では、老朽化した配水管の布設替え工事に係る予算が計上されていない。財源的な面での懸念はあるが、有収水量（有収率）の低下に加え、能登半島地震における断水の状況を踏まえると、老朽管路の更新及び基幹管路の耐震化への取り組みは、安定した町民生活を確保するために極めて重要であることから、計画的に整備を図るよう強く求める。

Q 平日に学校を休める制度を導入しては

A 先行する地域の動向を注視し検討を進めたい

Q 観光で成り立っている我が町では、土日や休日に仕事で家族と過ごすことのできない家庭が多い。平日に学校を休んでも欠席扱いにしない「ラーケーションの日」制度を導入してはどうか。

A ラーケーションとは、「ラーニング（学習）」と「バケーション（休暇）」を合わせた言葉で、児童生徒が保護者の休暇に合わせて平日に学校を休んでも欠席扱いにせず、家



ラーケーション
＝
ラーニング(学ぶ)＋バケーション(休暇)
「学ぶ」と「休暇」の両立が大切



族との時間を過ごしながら自主的な学びを得ることを推奨する制度であり、愛知県では2023年度より導入している。ただし、この制度は近年始まったばかりで、欠席の日の勉強の遅れをどうするかなどの課題や、学校と家庭そして子どもたちにとの異なる影響があるか、まだわからない部分も多いので、先行する地域の動向を注視しながら検討していきたい。

Q 観光素材磨き上げの考えは

A 街並み・景観をまちづくりと一体となつての施策が必要



観光資源の磨き上げの可能性を持つ熱川海岸の砂浜

Q これまで食やおもてなし・イベントの開催等、観光関係者の血のじむような努力で日本有数の観光地を作り上げていただいたという認識の一方で、日本の温泉百選のランクは下向きの状況が続いている。諸先輩方が築き上げてきた取り組みに



Q はさみ石や築城石、シラヌタ大杉等が観光素材として活用できるのでは。

A これまで食やおもてなし・イベントの開催等、観光関係者の血のじむような努力で日本有数の観光地を作り上げていただいたという認識の一方で、日本の温泉百選のランクは下向きの状況が続いている。諸先輩方が築き上げてきた取り組みに

Q 自治体主導でということだと思いが、二者択一ということではなく、意思決定が行政だとしても民間も含め連携しながら検討を重ね、お互いに補完し合いながらより良いものを創りあげていくスタイルを目指していきたい。

A 自治体主導でということだと思いが、二者択一ということではなく、意思決定が行政だとしても民間も含め連携しながら検討を重ね、お互いに補完し合いながらより良いものを創りあげていくスタイルを目指していきたい。



楠山 節雄 議員

そのほかの質問

- Q** 地元校の活用は
- A** 場所も含め環境があるかを検討する
- Q** 孤立化対策としての道路整備は
- A** 土木事務所、伊東市等とも話し合いを続けている

Q 専門職を含めた人員不足への対応は

A DX活用による負担軽減も含め検討していく

Q 地域包括支援センター係について、今年1名の増員を予定したものの補充に至らなかったと伺っているがその後の状況は。

A 令和6年度については新たに有資格者1名を雇い、補充することが決定した。

Q 保健予防係と健康増進係を統合した上で体制としては1名減員、その部分は一体運営による効率化というところでカバーするというような説明を聞いた。率直な印象として統合による効果と減員によるデメリットが相殺され、業務



健康づくりには年代による切れ目のない対応が重要

Q 今回の機構改革により、これまで地域包括支援センター係や健康増進係等が必要に応じ連携して行ってきた介護予防関連の事業に変化は生じるのか。

A 従来からの相談事業や各種教室等での連携等、これまで行ってきたことはしっかりと継続していく。

Q 発達障がい児の支援は

A 障がいの有無で隔てずとも成長できる方法で進めたい



「より良く成長するため」に早期支援はとても大切

Q 子ども達の10人に1人が発達障がいの可能性があるといわれているが、当町の現状は。

A 健診等で例年10人16人程度の子に発達障がいの可能性が見受けられる。

Q 課題はあるか。

A 保護者の受け止め方などで支援に繋がらないケースが見受けられる。

Q 早期発見・早期療育が非常に重要とされる

A 通級指導教室の設置はしていないが、幼・小・中学校にそれぞれ保育補助員や学習支援員を合計13人配置し、必要に応じて学習の支援を行っている。

Q 放課後等デイサービスや通級指導教室など、子どものライフステージに合った切れ目のない支援は。



栗原 京子 議員



Q 巡迴型支援相談員整備事業の実施は。

A 臨床心理士に学習相談員を委嘱し、認定こども園・幼稚園・各小中学校を年2回程度訪問して具体的なアドバイスを受けている。

Q 国からのマニュアルを待ち、令和7年度からの実施を検討している。



西塚 孝男 議員

そのほかの質問

- Q** 地震時の電気火災を防ぐ感震ブレイカーの整備にあたり、補助制度を導入する考えは
- A** 機能やコスト、各家庭の状況等を総合的に検討した上で進めていきたい



稲葉 義仁 議員



A 従来からの相談事業や各種教室等での連携等、これまで行ってきたことはしっかりと継続していく。

Q 稲取地区のオンデマンド交通の成果は

A 297人が乗降しほぼ目的を達成した



須佐 衛 議員

Q ノックルの説明会では別荘やマンションの住民

そのほかの質問

Q 老朽水道管の割合が38・4%と県平均を大きく超えているが
A 改修には多額の費用が掛かり料金が見直しが必要



A ドライバーの保険を利用することが基本で、万が一期限切れなどが発生した場合は町の保険で対応する。



概ね好評だったツマシャトル
来年度の運行は白紙

Q 今後この事業をどう検討していくのか。

A 十分に関心が高かったようだが、管理組合等との連携は。また事業拡大に向けた方針は。

Q 21人いて18回の利用だった。自宅付近から駅までの利用が多かった。
A ノックルの説明会では別荘やマンションの住民

Q 民間の送迎ドライバーや商店ドライバーの方にも声掛けして確保したい。
A 万が一、事故に遭遇したときの保険の問題は大丈夫か。

Q 津波対策と地区協議会への対応は

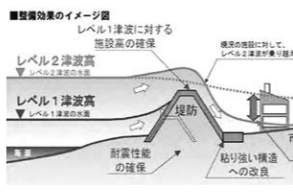
A 多重防護により津波防災地域づくりを推進



鈴木 伸和 議員

そのほかの質問

Q 湯ヶ岡赤川線の一時中断は
A 継続事業の中断は今ここで判断できない
Q 白田川橋周辺道路の安全対策は
A 担当課と相談しながら適切な対応を図っていく



整備効果のイメージ



Q 協議会の対策方針をどのように捉えているか。
A 各地区の結果を尊重し事業を進めている。法改正や社会情勢の変化等で見直し等が必要となれば柔軟に対応していく。
Q イエローゾーンへの対応は。
A 令和4年度に作成配布したハザードマップに浸水区域と避難経路を示した。各自自主防災会が実施する地域防災訓練等で訓練の大津波警報を発令

し、海岸付近から高台への避難を実施している。
Q 観光客、来訪者への避難路の案内は。
A 海岸付近に津波避難案内看板を設置している。老朽化対策としては新年度に交換する予算措置をした。片瀬区、東区には蓄光の案内看板を設置している。
Q 稲取漁港の「粘り強い構造」への改良は。
A 県は、第1北防波堤・第2北防波堤の補強に向けた実施設計を令和6年度に、7年度以降に工事を予定している。南防波堤・東防波堤は順次実施する予定。東区の堤防嵩上げ対策は実施設計を行っている。

Q 賀茂郡への支援を確保する道路を

A 必ず実現させる覚悟で取り組む



山田 直志 議員



その先が待たれる道路
(河津町見高長野地区付近)

Q 能登半島地震後、町から南進の道路と言っているがその構想は。
A 町は、国道だけでなく色々な形で繋がっていることが大事で、北進(伊東市)・南進(河津町)ともに早急に繋げていきたい。
Q 南進は、賀茂農林事務所が調査した田中方面に向かう道の実現を進めていきたい。ただ両方向とも隣接市町の区域を通る

Q 県の被害想定では、国道414号及び136号は1週間以上の被害が発生し、賀茂郡が孤立する事が想定されている。その中、重要な役割を担う国道135号は3日から1週間程度の被害、河津町方面へは未定のままである。北進も南進も町だけでなく、賀茂郡全体にとつての救命と復旧復興の道と考える。賀茂郡の市町と連携して実現していきたい。
A 市町の首長間では連携して取り組んでいく事が重要だとの認識は共有されている。南進の調査された区間は必ず実現させる覚悟で取り組んでいく。

Q ふるさと納税担当職員の増員は

A 係を設置して2名の職員で体制強化を図る



山田 豪彦 議員



ふるさと納税イメージ

Q ふるさと納税係を増員する効果は。
A 町の大きな収入源になり好循環が生まれ始めている。財源を有効に使わせていただき、必要な政策を新規に行うことができる事から、現状1名で課内の他の業務との掛け持ちだったので更に力を注ぐために係を設置して積極的に取り組む。
Q 今後の仕事内容は。
A 農業や漁業などの1次産業から発展した6次

産業の部分に伸びしろがあり、この部分に力を注ぎたい。業務は新たな返礼品の研究、工夫が主となる。開発や宣伝方法については、どういった露出が効果的か調査、研究していく。各種産業の活性化や発展に繋がるような役割を横断的に組織されたプロジェクトチームの残したノウハウや哲学や手法を引き継いでいきたい。
Q 先進地等への研修は、考えているか。
A 必要なものがあれば行っていただきたいし、経験していただきたいと考えている。

河津町議会議員と合同で研修会を開催



清水先生からの感想 (SNSより)

何を指して改革すべきなのか、指針を示してほしいとのオーダーを受けて、河津町・東伊豆町議会議員交流会主催の研修会でお話してきました。

両町議会合同の交流会は31回目で、この交流によりお互いに切磋琢磨されてきたとの説明に偽りはなく、研修後の意見交換会でも両議会議員からの質問は途切れない熱心さでした。

もう少し時間はかかるかもしれませんが、ここは大化けするかもです。

地域住民のための議会改革を

2月6日、河津町・東伊豆町議会議員が合同で研修会を開催しました。開催にあたり、早稲田大学マニフェスト研究所の招聘研究員で前大津市議会局長の清水克士先生を講師としてお招きし、「議会を改革すべき本質とは何か？」をテーマにお話を伺い、議会改革の目的や方向性、課題等について意見を交わしました。



一部事務組合からのお知らせ

東河環境センター

ごみ処理場については、焼却炉の長寿命化に向けた補修工事及び料金徴収機のインボイス対応修繕等を実施しました。

また、し尿処理場は、基幹的設備改良工事が令和5年度に完了しました。

伊豆斎場

待合室の段差部分に追加の段差と手すりを付けました。併せて多目的トイレをどなたでも利用できるよう促す表示板を設置しました。

下田メディカルセンター

常勤医師を2名増員し、不在となっていた整形外科の医師を4月から確保しました。また、昨年9月から糖尿病内科が設置されています。

なお、旧共立湊病院の解体工事が昨年10月から始まり、本年11月に完了の予定です。

駿東伊豆消防

能登半島地震の発生に伴い、消防庁からの指示により緊急消防援助隊を派遣しています。東伊豆消防署員は救急隊員として、第4次から第6次まで各1名、計3名が派遣されました。

第1回定例会の議案と各議員の賛否

○ 賛成 × 反対
※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	※立井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
議員発議													
発議第1号 議案第14号令和6年度一般会計予算に対する附帯決議	可決(9:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○
条例の一部改正等													
専決承認第1号 手数料徴収条例の一部改正	承認(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 介護保険条例の一部改正	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 漁港管理条例の一部改正	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 水道事業給水条例の一部改正	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 町営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号 町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算													
専決承認第2号 令和5年度一般会計補正予算(第6号)	承認(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 令和5年度一般会計補正予算(第7号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 令和5年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 令和5年度稲取財産区特別会計補正予算(第1号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 令和5年度幼児教育アドバイザー共同設置事業特別会計補正予算(第1号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 令和5年度水道事業会計補正予算(第4号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
予算審議													
議案第14号 令和6年度一般会計予算	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 令和6年度国民健康保険特別会計予算	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号 令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号 令和6年度介護保険特別会計予算	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 令和6年度稲取財産区特別会計予算	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号 令和6年度風力発電事業特別会計予算	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号 令和6年度幼児教育アドバイザー共同設置事業特別会計予算	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号 令和6年度東伊豆町水道事業会計予算	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案													
同意案1号 固定資産評価審査委員会委員の選任	同意(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案2号 教育委員会教育長の任命	同意(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

かがやく まちのひと

Vol.17

今回は、北川温泉で毎月満月の日の15時半から17時に行われている、ねこさいの日（干物など魚を焼いてふるまうイベント）へ伺いました。

イベントは、旅館組合の近藤組合長の挨拶と一般来場者も加わった二礼二拍手一礼で始まりました。



ねこさいの日の始まり！



ふるまいの様子

「ねこさい」って何ですか
 北川漁港では昔から定置網漁が行われてきました。魚の集まるところを「ね」と言い、定置網を仕掛けることが「ねをつくる」「ねこさえ」と言われ、それが訛り「ねこさえ」そして「ねこさい」となったそうです。平成12年から『さかな祭り』の名称で始まり、平成22年から『ねこさいの日』になりました。

—どんな思いで活動を—
 寄付金を集め、昨年新設されたねこさい広場に『幸せを呼ぶ』というモ

ビルやクッキーなどの関連商品の開発にも携わりました。ねこさいの日は大きなイベントというより、区民みんなで参加できる楽しいイベントにしていきたいです。今日も小学生の頃にきてイベントを手伝ったことのある



開発したクラフトビール



皆さん楽しそうです

る神奈川の大学生が友人を連れて遊びに来てくれて、当時の話をしながら楽しい時間を過ごせました。

—今後の展望は—
 2007年に立ち上げた『IOF』伊豆海洋保護基金の募金活動にも力を入れていきたいです。最近では伊豆山地区の漁業関係者の支援に20万円を寄付しています。

また、クラフトビールやクッキーはふるさと納税の返礼品として更に知名度を上げていきたいと思っています。

議会広報編集委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 栗原京子 |
| 副委員長 | 稲葉義仁 |
| 委員 | 山田豪彦 |
| 委員 | 鈴木伸和 |
| 委員 | 笠井政明 |
| 委員 | 山田直志 |

編集後記
 能登半島地震により被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災から十三年、熊本地震から八年、この先いつ起きてもおかしくない大地震に備え、皆さまの「我が家の地震対策」の再チェックを是非お願いします。

新しく策定された「東伊豆町まちづくり総合指針」の下で新年度が動き始めました。オール東伊豆で町民の皆さまと共にまちづくりの一端を担ってまいります。お気づきの点がございましたら、お近くの町議会議員にお知らせください。

(鈴木)